

ブロック大会、地方大会の 開催マニュアル

平成17年 3月 1日制定

平成21年 4月 1日改訂

平成23年 1月 1日改訂

平成23年8月12日改訂

平成25年 4月 1日改訂

平成26年 4月 1日改訂

平成31年1月26日改訂

平成31年3月 9日改訂

令和 元年8月12日改訂

令和 3年 1月16日改訂

公益社団法人 日本パワーリフティング協会 J P A 組織委員会

ブロック大会、地方大会等の開催マニュアル

1. 適用大会

このマニュアルは、公益社団法人日本パワーリフティング協会（以下「J P A」という）が先に制定した「J P A主催全日本大会開催マニュアル」に基づき、公認大会の運営に関する標準化と平準化を図るために、開催要項に必要な参加資格、参加条件等の基本的な項目の他、配布すべき文書、プログラムの内容等について記載し、全日本大会以外の都道府県パワーリフティング協会が主催（又は主管）するブロック大会、都道府県大会及び市区町村大会の他、学生連盟、高校連盟が主催（又は主管）する大会に適用する。

2. 大会までの概略スケジュール

大会開催日の 2～3ヶ月前	<p>①下記事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none">・各種団体、自治体、報道機関からの後援、協賛の可否について・各種団体及び自治体からの助成金等の有無及び申請手続きについて <p>②大会会場の予約及び施設利用規則の確認</p> <p>③表彰内容・規模の検討</p> <p>④収支予算の見通し</p> <p>⑤開催要項等発送先確認</p> <p>⑥ポスター作成要否の検討</p> <p>⑦開催準備に向けた役割分担の明確化</p> <p>⑧ J P A アンチ・ドーピング委員会に対して、ドーピングテストの対象大会かどうかについての確認</p> <p>⑨ 18歳未満には、18歳未満競技者親権者同意書の作成と大会当日は携帯する事を連絡する。＜参考資料6＞</p>
------------------	--

2ヶ月前	<p>①開催要項等必要書類の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催案内文 ・参加申込書（ブロック大会では誓約書を含む。記録記入票を兼ねるものでもよい） ・陪審、審判協力依頼 ・会場施設のパフレット又は案内図（交通手段、内履きの要否、利用心得等も記載） ・ホテルパフレット、他 <p>②開催要項、ポスター等必要書類の発送</p> <p>③協会長、副会長の出席可否の確認（代理かどうかを含む）。その他、開会式参列者の見通しと出席可否の確認</p> <p>④JPA技術委員会への公式競技会認定申請（この申請によりJPAの後援となる）</p> <p>⑤JPA以外の後援依頼と手続き</p> <p>⑥新聞社等の報道機関、雑誌社への案内と協賛の申請</p> <p>⑦プログラムの広告募集活動開始</p>
2～3週間前	<p>①選手参加申込締切り</p> <p>②参加選手のIDナンバー、JPA登録済かどうかの確認。</p> <p>③大会運営のための役員会、理事会等の開催</p> <p>④プログラム作成</p> <p>⑤エントリー表（グループ分け）、審判構成表の作成</p> <p>⑥大会運営に関する直前準備作業着手</p> <p>⑦運営スタッフの確認、バーベル等の器具の運搬、弁当の手配、他大会前日又は当日の役割分担の明確化</p> <p>⑧開会式参列者への正式通知又は招待状送付</p> <p>⑨選手、役員、来賓等を対象とするスポーツ傷害保険等の契約手続き</p> <p>⑩ドーピングテスト実施対象のブロック大会の場合、「摂取医薬品・サプリメント申告書」をJPAアンチ・ドーピング委員会（医科学部会）へ送付</p>

3. 後援、協賛又は助成金

3. 1 自治体、教育委員会又は体育協会又はスポーツ協会

- ・主催協会の判断により申請する。ただし、地元の体育協会又はスポーツ協会（以下「体育協会」という）に加盟している場合は、積極的に申請することが望ましい。

3. 2 テレビ局、新聞社等の報道機関

- ・主催協会の判断により申請する。ただし、パワーリフティング競技のPRや普及のために、又、体育協会未加盟の地方協会の場合は、今後の加盟活動推進のためにも、積極的に申請することが望ましい。

4. 競技と表彰

4. 1 競技内容

(1) 個人戦

- ・ J P A 競技規則（ルールブック）に基づき、階級別に個人戦を行う。
- ・ 個人戦の参加費は地域の事情を考慮して、主催協会が定める。
- ・ 平成 28 年度以降、J P A の基本方針として、アンチ・ドーピング活動に関する積極的な取り組みを行っており、選手一人一人の決意を確認するために、ブロック大会においては、全日本大会開催マニュアルに準じて、申込書にアンチ・ドーピングに関する誓約文を記載して、これに記名捺印を義務付ける。ただし、都道府県の大会及び区市町村大会では、そこまで要求しないものとする。
- ・ ブロック大会でドーピングテストが実施される場合は、全日本大会に準じて、大会参加申込書とともに「摂取医薬品・サプリメント申告書」の提出を要すること、又、摂取の有無に関わらず提出することが必要であること、そして、その提出がない場合はもちろん、記名捺印の無い場合は、大会参加が認められないことを明記する。
- ・ 又、ブロック大会でドーピングテストが実施される場合、未成年者（18 歳未満）の選手が出場することを考慮して、日本アンチ・ドーピング機構（J A D A）の規定に基づく、**18 歳未満競技者親権者同意書の携帯が必要である。（同意書のない選手で、検査対象となった場合、7 日以内に、J A D A 事務局へ提出が必要事）**

※この未成年競技者親権者の同意書は J P A ホームページからダウンロードできる。

- ・ 大会参加申込締め切り後は、上記の「親権者の同意書」及び「申告書」を速やかに、アンチ・ドーピング委員会（医科学部会）に引き渡すものとする。
- ・ 選手の参加資格に関する記述は次の文例（ゴシック体部分）を参考にし、特に、選手登録に関する注意書きを開催要項に記載する。

①令和__年度の J P A 選手登録済みで、大会当日満 14 才以上の日本国籍を有する男女又は過去 1 年以上適法な在留資格に基づき日本に滞在している外国籍の男女。

②参加選手は、J P A ホームページでのオンライン手続きにより選手登録を完了しておくこと。交付された「I D ナンバー」の記載がない参加申込書は受理せずに返却する。ブロック大会の会場での選手登録は受付けない。尚、大会主催協会（〇〇県）に選手登録料を直接送金された場合は、受理せずに返金されるので注意すること。

※参加申込書に「I D ナンバー」の記載の無い選手が出場を希望する場合、オープン参加を認めるかどうかは、ブロック内での協議によることとする。

③本ブロック大会は、ドーピングテストの実施対象となっているので、参加申込書とともに記名捺印した「摂取医薬品・サプリメント申告書」を提出すること。摂取の有無に関わらず提出が必要であり、この申告書の提出がない場合、大会参加を認めない。

※この書類は、ドーピングテストの実施対象の場合、全日本大会に準じて、摂取していなくても提出することを記述する。ただし、ドーピングテストの実施対象でない場合は、記載不要。

④治療目的で禁止物質を使用している選手は、（公財）日本アンチ・ドーピング機構（J A D A）に禁止薬物の治療目的使用に係る除外措置（T U E : Therapeutic Use Exemption）の申請を行うことが望ましい。詳細は、J P A スポーツ医科学委員会に問い合わせること。

※この申請は、ドーピングテストの実施対象の場合、全日本大会に準じて、T U E 申請が望ましいことを記述する。

⑤ J A D A の日本アンチ・ドーピング規程に基づいて、18 歳未満の選手が大会に参

加する場合は、親権者の同意書を提出しなければならない。同意書の提出がない場合、本大会への参加は認められない。

⑥協会が組織されていない県又は休眠状態の県の選手は、下記のブロック長の所属する県協会にて選手登録をすること。

※必ず、ブロック長の連絡先を記載又は添付すること。

(2) 団体戦

- ・団体戦を実施するかどうかは、ブロックで協議の上又は主催協会の判断に一任する。実施する場合、ブロック大会では都道府県対抗戦とし、その他の地方大会ではクラブ、ジム等の対抗戦とする。
- ・男女別に行うかどうか、又、団体戦の参加費については主催協会の判断に一任する。
- ・地方大会でクラブ対抗団体戦を実施する場合は、次の全日本大会の条件を参考にする。

① 3名以上の選手（オープン参加は除く）で編成されるチームであること。

② 5名までの得点を合計して順位を決める。

③ クラブ対抗団体戦参加申込書の提出を必要とする。申込書には J P A に登録したことが分かる I D ナンバーを記載しなければならない。

① 3名以上の選手（オープン参加は除く）で編成されるチームであること。

② 5名までの得点を合計して順位を決める。

- ・各順位の得点の例を以下に示す（失格は0点）。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
得点	10	7	5	3	2	1

4. 2 表彰

- ・表彰範囲と内容は、主催協会の判断に一任する。

4. 3 年齢別カテゴリー

- ・ブロック大会の場合、日本記録への挑戦が認められるので、年齢別カテゴリーを設定することができる。

5. 準備

5. 1 大会開催要項

(1) 必須項目

①大会名称

②開催日時（曜日、受付、検量、開会式等の開始時刻を明記する）

③会場名、住所、電話番号

④主催協会（ブロック大会の場合、開催都道府県協会）

⑤共催者（必要により記載。ブロック大会の場合、主催協会以外の都道府県協会としてもよい）

⑥後援者（公認大会は、必ず公益社団法人日本パワーリフティング協会を後援とする）

⑦協賛者（新聞社、テレビ局等）

⑧参加資格（上記4. 1（1）の記載の通り）

⑨競技方法や競技規則（フルギア、ノーギアの区別、コスチューム上の注意事項等に関するもので、特に参加者に注意喚起の必要な事項について記載する）

- ⑩階級
- ⑪表彰内容
- ⑫参加費
- ⑬申込方法
- ⑭申込締切日
- ⑮申込先
- ⑯ドーピングテストが実施される場合の注意事項
- ⑰ブロック大会の特記事項として、参加選手が18歳未満の場合、18歳未満競技者親権者同意書の携帯が必要である。（同意書のない選手で、検査対象となった場合、7日以内に、JADA事務局へ提出が必要事）
- ⑱会場での不慮の事故を防止するために必要な注意喚起事項を記載する。
 - ※記載内容は、JPAのホームページに公開している『大会会場における不慮の事故等の対応に関するガイドライン』、『不慮の事故防止に向けた運用事項』をダウンロードして添付しても良い。
- ⑲その他、注意喚起事項や役員協力者への弁当支給等、関係者に事前周知しておくことが望ましい事項

(2) 配慮事項

- ・各項目の詳細内容及び開催要項の基本的フォーマットについては、JPA『全日本大会開催マニュアル』を参照のこと。
- ・地方大会でドーピングテストは実施しない。

(3) 宿泊案内

- ・別途案内書を添付する場合には、開催要項に記載しなくてもよい。

5. 2 大会の開催案内等の関係書類

(1) 必須書類

- ①大会案内書（自治体、教育委員会、体育協会等関係機関向け）
- ②大会開催要項
- ③個人戦用申込書兼誓約書＜参考資料1、参考資料2＞
- ④クラブ対抗団体戦用参加申込書＜参考資料3＞
- ⑤大会会場案内図
- ⑥摂取医薬品・サプリメント申告書（ドーピングテストの対象大会の場合）＜参考資料4＞
- ⑦18歳未満は、18歳未満競技者親権者同意書＜参考資料6＞

(2) 任意書類

- ①ポスター
- ②選手やセコンド向け弁当の斡旋の案内書
- ③懇親会等の案内及びその参加申込書
- ④ホテルパンフレット及び宿泊申込に関する案内書（ホテルへの直接申込、主催協会への申込等の区別を記載）

5. 3 開会式参列者の確認

- ・ブロック大会においては、知事、市町村長等の自治体首長、教育長、体育協会長の出席

依頼及び祝辞の依頼をする場合、後援、協賛又は助成金交付に関する申請手続きについて確認する際に、併せてこれらの手続きについて申請先に確認をし、時期を逸さずに手続きを行う。

- ・都道府県大会、市区町村大会においては、必ず主催協会の会長及び副会長に開催案内を送付して、開会式への出席の可否、代理の有無を確認する。

5. 4 プログラム

5. 4. 1 構成

- ・プログラムには、次の項目を順に掲載する。

- ①大会役員名
- ②開会式、閉会式次第
- ③主催協会関係者の挨拶文
- ④競技開始時刻等大会の進行内容
- ⑤個人戦（男女別、階級別）選手リストと記録記入表
- ⑥団体戦参加チームリスト及び得点表
- ⑦都道府県別対抗戦リスト及び得点表（ブロック大会の場合）
- ⑧最新の都道府県記録表、大会記録表
- ⑨大会履歴等、過去の大会実績が分かるもの

※これらの記載は、大会参加者、報道機関等へのPRに役立つので、JPA『大会プログラム用の得点表、県記録表等の標準フォーマット』を参照して掲載することが望ましい。

- ⑩啓發文書「ドーピング防止に関する大切なお知らせと注意点」

※平成28年度からJPAの方針として、アンチ・ドーピング活動に関する積極的な取り組みを行うことになったことを受け、ブロック単位でも、地方協会ごとでもプログラムを通じて啓発活動を推進することになった。これらの文書は、JPAホームページの「全日本大会開催マニュアル資料編」からダウンロードできる。プログラムに掲載が無理な場合は、別途コピーして受付で渡してもらっても構わない。

- ⑪唱和用文書「アンチ・ドーピングの誓い」＜参考資料5＞

5. 4. 2 主な掲載項目の内容

(1) 大会役員名

- ・大会役員は概ね次の通りとする。

- | | |
|-----------------|--|
| ①大会会長（1名） | 主催協会会長 |
| ②大会副会長（複数名可） | 主催協会副会長、開催地市町村協会会長 |
| ③大会実行委員長（1名） | 主催協会理事長 |
| ④大会実行副委員長（複数名可） | 主催協会に一任。 |
| ⑤大会実行委員（複数名） | 特定できない場合、「〇〇県パワーリフティング協会役員一同」、「〇〇クラブ部員一同」等のように記載 |
| ⑥大会事務局長（1名） | 主催協会事務局長（事務局長不在の協会は、理事長が指名する） |

- ⑦競技委員長（１名） 上記の役員とは別に、上位等級の審判有資格者の氏名を記載する。
- ⑧陪審員、審判員（最低６名） 氏名が分かれば記載する。確定できない場合、「(公社)日本パワーリフティング協会公認審判員」と記載してもよい。

※この他、大会顧問、大会参与等、地域の事情により適宜役員を設けてもよい。

・ブロック大会の場合は、上記の他に次のような役員を置くことができる。

- ①大会委員長（１名） 主催協会理事長
- ②大会副委員長（複数名可） 主催協会以外の協会理事長
- ③大会委員（若干名） 都道府県協会の副理事長等とし、主催協会に一任

※これらは、上記の大会実行委員長、大会実行副委員長の上に位置付ける。この場合、大会実行委員長は主催協会副理事長(主催地に市区町村協会がある場合は、その協会理事長)が担当することが望ましい。いずれも、主催協会の判断に一任する。

- ④競技委員長（１名） ブロック技術委員長

(2) 開会式・閉会式式次第

・JPAの開閉会式式典規程又は『JPA全日本大会開催マニュアル』の資料編に掲載されている『開閉会式式典要領』を参考にし、実情に合わせて内容を記載する。

(3) 競技開始時刻等大会の進行内容

・進行の内容は次の通りとする。

- ①セッションごとの検量開始時刻、試技開始時刻
- ②セッションごとの男女別階級と選手数
- ③複数プラットフォームが設けられる場合、プラットフォームに対応したコートの区別とコートごとの男女別階級と選手数

(4) 個人戦（男女別・階級別）リストと記録表

・記録記入表の項目を次の通りとする。

- ①選手氏名
- ②カレンダーイヤー年齢
- ③所属都道府県（ブロック大会の場合）
- ④所属団体
- ⑤検量
- ⑥種目別に３試技記録及びトータル記録記入欄

※３種目大会の場合、ベンチプレスの後にサブトータル記入欄を設ける。

⑦順位

・記入する選手の順番は主催協会に一任する。

(5) 団体戦参加チーム得点記入表

・チーム対抗団体戦を実施する場合、参加申込チームの男女別得点記入表を作成する。

・掲載項目を次の通りとする。

- ①団体名
- ②所属選手氏名と階級
- ③得点

④順位

(6) 最新版日本記録

- ・日本記録の最新情報は技術委員会から入手する（JPAのホームページからも入手は可能）。
- ・日本記録をプログラムに掲載するかどうかは、主催協会の判断に一任する。
- ・その大会に関係のない記録は掲載を省略することができる。例えば、フルギア・パワーリフティング大会については、ノーギア大会の記録、ベンチプレスの記録は掲載しなくてよい。

5. 5 傷害保険

- ・参加者個人については、誓約書に記名捺印することにより「大会期間中に発生した事故やトラブルは自分自身で処理解決するものとし、主催者や主催協会に一切の迷惑をかけること」を約束している。しかし、大会期間中にどのような不測の事態が発生するか分からないこと、又、大会役員、陪審員、審判員、観戦者等選手以外の大会参加者が事故やトラブルに巻き込まれることがありうる（現実には、選手や補助が試技中に大怪我をする事故が発生しており、大会主催者が損害賠償請求訴訟を起こされたケースがある）ことから、主催協会は、大会期間中はもちろん会場設営準備期間中や後片付けの期間も考慮して、スポーツ傷害保険等の適切な保険に加入する。

5. 6 緊急時医療体制

- ・万一の不測事態に備えて、総合病院や個人病院を問わず大会当日の当番医や救急医療センターの確認をする。
- ・AEDが設置されている会場を利用すること。会場内の設置場所を確認するとともに、万一の場合は借用することがある旨を、事前に施設管理者に伝えて了解を得ておくこと。
- ・運営スタッフにAEDの取り扱い操作になれた者を加えることが望ましい。

6. 大会前日までの準備

(1) 検量器の設置

- ・ブロック大会においてホテルを用意する場合、ホテルに大会前日に検量器を設置する。
- ・開催要項等にその旨記載して事前に選手に案内する。

(2) 会場設営

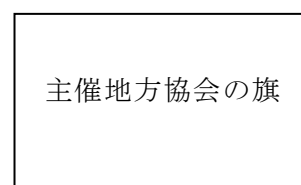
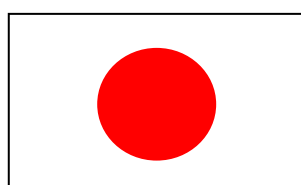
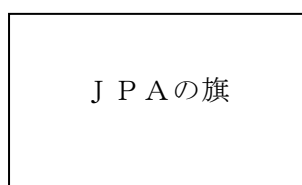
- ・演出上必要なものは次の通りとする。

①大会横断幕又はパネル

②主催協会旗（これがない場合は、JPAの旗でもよい）

③国旗（日章旗）

- ★国旗等の掲揚配列には決まりがある。正面中央に国旗（日章旗）、その向かって左側に上位団体（JPA）の旗とし、国旗を挟んで右側を主催協会の旗とする。



尚、都道府県体育協会等の自治体の旗を併せて掲揚する場合には、これを国旗の左に配置し、J P Aと地方協会等の旗を右に並べる。

★大会横断幕は、国旗の上方に張り出してよい。

④国歌（君が代）演奏テープ（必要により）

- ・事故防止、そして円滑な大会運営と競技進行のために、注意事項、禁止行為、関係者以外立ち入り禁止のエリアを明確にするとともに、張り紙等で注意喚起する。
- ・その他主催協会の判断により準備するもの。

①屋外設置用会場案内看板

②BGM用テープ、CD類と音響装置

③ブロック大会の場合、都道府県別プラカード等

(3) 競技進行上必要なもの

- ・主催協会は次の印刷物を用意する。

①記録記入票（記録カード）

※参加申込書と兼用の場合は、受付でのチェック時に選手に渡す。

②コスチュームチェック表

③ウィルクスフォーミュラ数値表

④最新版日本記録（ブロック大会の時）

⑤日本記録申請書（ブロック大会の時）

⑥プレート取付け早見表（必要により）

(4) 事務局用準備品

①接着テープ、フェルトペン等の文具用品類

②潤滑材、ペンチ等のメンテナンス用具類

③止血剤、消毒薬、さずばん等の応急医薬品

ブロック大会の場合、大会前日にブロックに所属する都道府県協会理事長や事務局局長が参集して打ち合わせを行い、主催協会を中心に大会運営の詳細確認や進行に関する共通認識を図るとともに、ブロック長を中心にブロック内の課題について協議し、連携を深め協力体制の強化を図る機会を設けることが望ましい。

7 大会当日

7. 1 来賓席

- ・関係機関の来賓出席が予定されている場合、観戦し易い位置に来賓席を設ける。

7. 2 大会事務局

- ・大会事務局の事務局長は、開閉会式の準備と進行を担当する。
- ・その他、大会実行委員長を補佐し、報道機関への取材対応、競技進行、大会運営等に関する種々の問合せ対応、緊急時の対応指示を担当する。
- ・検量、コスチュームチェック後の記録カードを整理し、最終出場選手の確認を行う。コスチュームチェック表は競技進行に応じて、セッション又はグループごとに陪審員席に置く。

7. 3 競技を進行する各担当

(1) 受付係

- ・選手、来賓者、審判協力者等の受付業務を担当する。
- ・来賓者については所定の席に案内する。必要により、来賓者には赤いリボンを渡して付けてもらう。
- ・ブロック大会の会場では、選手、審判の新規・継続登録は受け付けない。事前に J P A ホームページのオンライン手続きにより、選手登録、審判登録を済ませておくことを基本とする。
- ・受付係に必要なもの。
 - ①チェック用プログラム
 - ②チェック用陪審員・審判員構成表
 - ③来賓者リスト
 - ④領収書、印鑑
 - ⑤参加申込書と兼用の記録カード
 - ⑥必要により、試技カード
- ・選手に渡すもの。
 - ①プログラム
 - ②記録票
 - ③コスチュームチェック表
 - ④必要により、試技カード
- ・陪審員、審判員協力者に渡すもの。
 - ①プログラム
 - ②陪審員、審判員構成表

(2) 放送係

- ・ J P A 『全日本大会開催マニュアル』の資料編に記載されているアナウンスマニュアルを参考にして、アナウンスを行う。
- ・競技中、随時、選手の試技順をアナウンスする。
- ・状況に応じて選手のプロフィールの紹介、都道府県記録や日本記録の挑戦重量について解説を行う。
- ・会場内での事故防止のために、昼食時間や競技進行の節目で必要な注意事項をアナウンスする。

(3) 進行係（放送席）

- ・競技開始前に該当するセッション、グループで試技する選手の記録カードを大会事務局より受取り、記載事項が適切かどうか確認する。
- ・第 1 試技重量の軽い選手の順に並べ、記録票を試技順に放送席に渡す。
- ・第 2 試技、第 3 試技の開始前に、それぞれ試技順に記録票をそろえる。
- ・競技中は記録票に第 2 試技、第 3 試技の申請又は変更重量を記入し、試技の成功、失敗を記録する。
- ・申請のあった次回重量が、各種目の日本記録、都道府県記録等への挑戦重量かどうかを確認し、該当する場合その旨記録票に記入する。
- ・全競技終了後、直ちに個人戦の順位の確定作業を行う（別の人で代行可）。

(4) 重量表示係

- ・放送係のアナウンスを聞いて試技重量を表示する。

- ・種目名、試技回数、階級を表示する。
 - ・必要により、セッション、グループで試技する選手の試技順序をボード等に掲示する。
 - ・必要により、試技重量試技の成功・失敗、記録更新等を含めて、パソコンに入力した選手のデータをプロジェクターで表示することができる。
- (5) 時計係
- ・放送係の合図（バーズローディッド等）でタイマーをスタートさせる。
 - ・スクワット、ベンチプレスについては主審の試技開始合図で止める。
 - ・デッドリフトの場合は、バーベルの引き動作開始で止める。
- (6) 記録掲示係
- ・競技開始前に、参加選手の体重と第1回目の試技重量を記録掲示表（バックボード等）に記入又は表示する。
 - ・競技中は進行に合わせて、2回目、3回目の重量表示と成功・失敗を記入又は表示する。
- (7) 補助員
- ・放送係のアナウンスに従い、プレートの着脱、ラック高さの調整、ベンチプレス用足台の出し入れを行う。
 - ・最も重要な任務は、選手が挙上に失敗した場合の事故防止である。常に選手の動作を注視し、主審の「補助」の合図とともに、バーベルの落下を防止する。特に、センター補助は、スクワット、ベンチプレスの試技の場合、迅速に対応できるように待機しなければならない。
 - ・主審の要請により、プラットホーム、バーベルシャフトの清掃を行う。
- (8) 検量・コスチュームチェック係
- ・検量室を必ず用意する。

観客から見える競技場内や通路の片隅で裸になって検量することは、見苦しく品位に欠けるので、行ってはいけない。検量室が確保できない場合は、パーティション等の囲いを設けて、視線をさえぎる工夫をする。

- ・検量、コスチュームチェックは審判員が行う。
 - ・記録票を検量係が受取り、検量体重を記入する。
 - ・選手の各3種目の第1試技が記録票に記入されているか確認するとともに、重量の変更があるかどうかを確認し、記録票を選手に返却する。又は、選手に渡さずに全選手分をまとめて本部席へ引き渡す。
 - ・コスチュームチェック係は、プラットホーム上で使用する衣類・用具類全てを検査し、コスチュームチェック表に記入して合格印を押す。又、必要によりコスチュームに合格印を押す。
 - ・コスチュームチェック表に記入漏れがないか確認して、これを大会事務局に渡す。
- (9) テクニカルコントローラー
- ・競技中は、プラットホームへの出入り口に常駐し、次のような役を担う。
 - ①放送係のコールに合わせて、プラットホームに上がる選手のタイミングを計り、誘導する。
 - ②プラットホーム周囲への関係者以外の立ち入りを制限する。
 - ③常時、待機エリアにいる選手のコスチュームをチェックし、適合スタンプの有無を確認する。適合スタンプのないコスチュームを着用している選手には、その交換を

指示する。

- ④コスチュームチェックに立ち合う。
- ⑤必要により、補助員に対して、プラットホーム、バーベル等の清掃を指示する。

7. 4 開会式、閉会式

(1) 開会式

- ・ J P A の『開閉会式式典規程』及び『全日本大会開催マニュアル』の資料編「資料 1 5 開閉会式式典要領」を参考にして進める。
- ・ 司会者（事務局）は、役員と選手の整列を指示する。ブロック大会の場合、選手は都道府県別に、地方大会の場合はクラブ別に整列する。
- ・ 国旗が正面に既に掲示されている場合、役員、選手が整列を終了した段階で、司会者は「正面に向かって、礼！」と合図する。
- ・ 大会実行委員長が「開会宣言」をした後、国旗の掲揚をせずに国歌斉唱を行う場合、司会者は、「国歌斉唱をお願いします」と合図して楽曲を流す。
- ・ 国歌斉唱とともに国旗を掲揚する場合、司会者は「国旗掲揚及び国歌斉唱」とアナウンスし、国歌の楽曲を流す。
- ・ 開会式の式典を全て終えた場合、司会者は「一同、正面に向かって、礼！解散してください」とアナウンスする。

(2) 表彰式

- ・ ブロック大会において、閉会式が遅くなることが予測される場合、表彰式を閉会式と切り離してセッションごとに行ってもよい。

(3) 閉会式

- ・ 表彰式と閉会式を同時に行う場合、役員、選手は開会式と同様に整列する。
- ・ 国旗を掲示したまま降納しないで、表彰式、閉会式の式典を全て終える場合、司会者は「これで全ての日程を終了しました。一同、正面に向かって、礼！解散してください」とアナウンスする。

8. ドーピングテスト

- ・ ドーピングテストの対象となるブロック大会では、主管協会は「J P A 全日本大会開催マニュアル」の本文「5. 3 ドーピングテスト」を参考にして、必要な対応を行う。

9. 大会終了後の事務処理

9. 1 J P A 技術委員会への報告

- ・ 主催協会は、大会結果の報告（傷害保険証書の複写とともに）、日本新記録の申請を速やかに行う。

9. 2 関係者への報告

- ・ 来賓、広告協賛者、他の協会理事長（ブロック大会の場合）等関係者に、大会終了案内を兼ねて、お礼と大会結果の報告を行う。

※地方新聞に掲載された記事のコピーを同封することが望ましい。

9. 3 自治体等への報告

- ・協賛又は後援をいただいた都道府県等の自治体、教育委員会、体育協会等の関係機関への結果報告を行う。

9. 4 報道機関への結果連絡

- ・連絡内容は次のとおりとする

- ①全選手の成績、個人戦及び団体戦の成績、最優秀選手賞等の個人表彰内容及び新記録の有無等の大会結果。
- ②ブロック大会で日本記録等を更新する等、活躍した選手の記事。
- ③問合せ、連絡先として主催協会の担当者名及び電話番号。

以上

第〇回〇〇ブロック パワーリフティング選手権大会
参加申込書兼記録票

・予め太枠内及び誓約書欄に記入し、捺印の上、申し込んで下さい。

No.	申込階級	氏名 (ふりがな)	IDナンバー	性別	生年月日 (西暦)
	kg級	()		<input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子	年 月 日 カレンダーイヤー 歳
参加区分 (〇をつける)		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> マスターズI <input type="checkbox"/> マII <input type="checkbox"/> マIII <input type="checkbox"/> マIV <input type="checkbox"/> ジュニア <input type="checkbox"/> サブジュニア			
検量	セッション	コート	所属都道府県	所属クラブ・団体	
kg		A B			
本大会への意気込み、キャッチフレーズ等					日本記録挑戦の予定
					<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

スクワットのラック高さ	c m (穴 個目)
同セーフティバー高さ	c m (穴 個目)
ベンチプレスのラック高さ	c m (穴 個目)
同セーフティバー高さ	c m (穴 個目)
同センター補助 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	同足台 <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要

※会場で検量時、第1試技の重量とラック高さを記入して提出すること。

	第1試技	第2試技	第3試技	ベスト	フォーミュラ記録	種目別順位
スクワット	kg	kg	kg	kg		
	変更 kg					
ベンチプレス	kg	kg	kg	kg		
	変更 kg					
			小計			
デッドリフト	kg	kg	kg	kg		
	変更 kg		変 kg	変 kg		
フォーミュラ係数	トータル			kg		
順位	特別表彰					

誓約書

年 月 日

〇〇都道府県パワーリフティング協会 御中

- ・本大会の参加に際して、開催期間中に発生した事故やトラブルに関しては、参加者本人が自らの責任において解決するものとし、大会主催者及び主管協会に一切のご迷惑をおかけ致しません。又、将来にわたって一切の請求をしないことを誓約します。
- ・本大会の参加者本人を含む会場風景や競技中の写真を、JPAのホームページへの掲載等、JPAの事業活動のために利用されることについて、了承します。
- ・又、日本アンチ・ドーピング機構が定める日本アンチ・ドーピング規程及び関係規則類並びにJPAのドーピング防止規程を遵守します。

住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

氏名 _____ ④ E-mail : _____

第〇回〇〇ブロック ベンチプレス選手権大会 参加申込書 兼 記録表

・ 予め太枠内及び誓約書欄に記入し、捺印の上、申込んで下さい。

No.	申込階級	氏 名 (ふりがな)	I Dナンバー	性 別	生年月日 (西暦)
	kg級	()		<input type="checkbox"/> 男子 <input type="checkbox"/> 女子	年 月 日 カレンダーイヤー 歳
参加区分 (〇をつける) <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> マスターズ I <input type="checkbox"/> マII <input type="checkbox"/> マIII <input type="checkbox"/> マIV <input type="checkbox"/> ジュニア <input type="checkbox"/> サブジュニア					
検 量	セッション	コート	所属都道府県	所属クラブ・団体	
kg		A B			
本大会への意気込み、キャッチフレーズ等				日本記録挑戦の予定	
				<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	

ラックの高さ	セーフティバー高さ	センター補助		足 台	
cm (個目)	cm (個目)	<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要		<input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要	
	第 1 試技	第 2 試技	第 3 試技	ベスト	フォーミュラ
ベンチプレス	kg	kg	kg	kg	
変 更	kg	第 3 試技変更 1	kg	/	/
※会場で検量時、第1試技の重量とラック高さを記入して提出すること。		第 3 試技変更 2	kg	順 位	位

誓 約 書		年 月 日
<p>〇〇都道府県パワーリフティング協会 御中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本大会の参加に際して、開催期間中に発生した事故やトラブルに関しては、参加者本人が自らの責任において解決するものとし、大会主催者及び主管協会に一切のご迷惑をおかけ致しません。又、将来にわたって一切の請求をしないことを誓約します。 ・ 本大会の参加者本人を含む会場風景や競技中の写真を、J P Aの事業活動のために利用されることについて、了承します。 ・ 日本アンチ・ドーピング機構が定める日本アンチ・ドーピング規程及び関係規則類並びに J P A のドーピング防止規程を遵守します。 <p>住 所 〒 _____</p> <p>TEL _____ FAX _____</p> <p>氏 名 _____ ④ _____ E-mail : _____</p>		

第〇回〇〇ブロック _____ 選手権大会
 クラブ対抗団体戦参加申込書 (〇/〇締切) 兼集計票

〇〇都道府県パワーリフティング協会 御中

下記の通り、クラブ対抗団体戦 (3名以上) に参加申し込みします。

団体名			ID番号	
責任者		E-mail		
電 話	固定 :		携帯 :	
住 所				

男 子 (名)

階級 Kg	選手氏名	カテゴリー	順 位	点 数	
				得点合計	
				総合順位	

※太線内は漏れなく記入して下さい。
 ※各階級内のカテゴリー毎の順位で計算する。
 ※1団体上位5名まで、同一階級は2名までが得点の対象となる。

女 子 (名)

階 級 Kg	選手氏名	カテゴリー	順 位	点 数	
				得点合計	
				総合順位	

※太線内は漏れなく記入して下さい。
 ※各階級内のカテゴリー毎の順位で計算する。
 ※1団体上位5名まで、同一階級は2名までが得点の対象となる。

※各順位の得点を以下に示す (失格は0点)。

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
得点	1 0	7	5	3	2	1

摂取医薬品・サプリメント申告書

ブロック大会主管協会 御中

この度、 年 月に開催される第〇〇回〇〇パワーリフティング選手権大会に出場するに際して、以下の医薬品及びサプリメントの摂取について申告致します。

年 月 日

署名（自署） _____ ⑩

※日頃摂取している医薬品、サプリメント及び大会日より1か月以内に摂取予定の医薬品、サプリメントを正直にご記入下さい。何も無い場合は、「無し」とご記入下さい。

製品名	メーカー又は販売元	摂取（予定）時期

住所	〒 _____	
氏名	ふりがな： _____	
所属	<input type="checkbox"/> 団体（名称： _____） <input type="checkbox"/> 個人	
連絡先	E-mail	_____
	電話番号	固定： _____ 携帯： _____
	FAX	_____

- ・署名（自署）は必ず手書きして下さい。
- ・アンチ・ドーピング規則違反がご心配の方は、スポーツ医科学委員会が相談を受けます。
JPAのホームページお問い合わせコーナーを利用して、お気軽にご連絡下さい。
尚、E-mail、SMS、FAX、手紙等で回答や連絡を差し上げますので、医薬品、サプリメントを含めて、連絡先を漏れなくご記入下さい。
- ・今回、入手した個人情報、ドーピング防止対応と本大会の運営に関わる以外に使用しません。

★主管協会は、参加申し込み締め切り後に、この申告書を全選手の分を取りまとめて、JPAスポーツ医科学委員会に送付して下さい。

★開会式において、大会委員長又は大会実行委員長が音頭を取ります。

アンチ・ドーピングの誓い

< 全員唱和 >

「アンチ・ドーピングの誓い」について、みんなで唱和します。
私が、「ひとつ」と申し上げますので、続けて本文を大きな声で読み上げて下さい。全部で3つございます。では、お願いします。

一つ ドーピングは、スポーツにおける公平さを否定する卑怯な行為です。スポーツマンシップに基づいて競技する私たちにとって、許すことはできません。

一つ ドーピングは、スポーツの楽しさ、感動、夢を奪う社会悪です。子供たちのお手本となり、社会の模範となるアスリートとして、許すことはできません。

一つ パワーリフティングの仲間とともに、ドーピングをしないことを決意し、禁止物質を使用しないこと、摂取する物に十分な注意を払うこと、などの基本ルールを厳守することを誓います。

(公社) 日本パワーリフティング協会

《大会要項掲載文雛型》

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。
2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。
3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできます。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意して下さい。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認して下さい。

JADA 発 第 061 号

2020 年 11 月 6 日

本機構加盟団体
アンチ・ドーピング担当者 様

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
事務局長 綾部 吉也
(公 印 省 略)

世界アンチ・ドーピング規程改定に伴う
18 歳未満競技者親権者からの同意書の取得について

平素より、アンチ・ドーピング活動にご尽力とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2021 年 1 月 1 日に改定される世界アンチ・ドーピング規程に準拠した国内体制の整備の一つとして、18 歳未満競技者親権者からの同意取得の流れが変更となります。つきましては、下記及び別添資料をご確認のうえ、関係各位へご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

対 象：18 歳未満競技者及びその親権者

改定内容：18 歳未満競技者の親権者同意は「競技会主催者」から「JADA の責務」に変更
(2021 年検査・ドーピング調査に関する国際基準付属文書 B.3)

【競技団体への依頼事項】

別添①「大会要項等掲載文雛型」の全文を競技者へ情報伝達される方法にて周知徹底ください

注意：今まで注意喚起の一文のみ掲載していた場合も、**今後は全文を掲載ください**

周知いただく競技会の範囲： 競技会検査を例年予定している大会及び全日本レベルの大会

【対象となる競技者の実施事項】

- ・ 対象者は競技大会へ参加する際に、署名済みの「親権者の同意書（別添②）」を携行
(親権者の同意書は、JADA WEB サイトよりダウンロード可能 英語版は後日掲載予定)
- ・ ドーピング検査対象となった 18 歳未満競技者は、署名済み「親権者の同意書」を検査員へ提示
- ・ 検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出してください。

(注意) 親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものといたします。

【別添】①大会要項掲載文雛型 ②18 歳未満競技者親権者 同意書

【問い合わせ先】 検査部 電話：03-5801-0958 メール：testing@playtruejapan.org

以上



公益財団法人
日本アンチ・ドーピング機構 御中

18歳未満競技者親権者 同意書



私、【親権者氏名】(ふりがな) は、【18歳未満の競技者】(ふりがな) (以下「甲」) の親権者として、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(以下、「JADA」)に加盟している競技団体に登録するすべての競技者(甲を含む)に、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程(以下「規程等」といいます。)が適用されることを理解します。

更に、ドーピング検査や検体分析、結果管理その他の規程等において定められる一連の手続(以下「ドーピング・コントロール手続」といいます。)の内容を理解し、甲に当該内容を理解させます。

また、甲がドーピング検査の対象となり、採取検体の種類を問わずドーピング検査を受けることに同意し、ドーピング・コントロール手続に服することに対して同意を申し述べません。また、規程等が随時更新されることも理解します。

本同意は、甲が満18歳となるまで有効とし、本人が18歳になるまでの間に親権者が私以外にかわった場合には遅滞なく私から貴団体に通知し、新たな親権者から同意を得ることを誓約します。

また、私は、過去の情報を含む、甲に関するすべての情報(個人情報を含む)並びに本同意書が、検査やインテリジェンス活動等のアンチ・ドーピング活動に必要な範囲で、世界アンチ・ドーピング機構、国内外の競技連盟、主要総合大会組織、独立行政法人日本スポーツ振興センター等に提供されることに同意します。

年 月 日

【親権者】

住 所:

自 署:

【競技者】(甲)

競技名:

住 所:

自 署:

生年月日: 年 月 日

上記内容について了解いたしました。